

2019年度中学生まるびい アートスクール「考え方を考える」 中学生が、調べて、考えて、作った 「魔法のばいれ一つ」展 & こたつ座談会

魔法のばいれ一つ展は、2019年9月から12月にかけて、金沢市立城南中学校、金沢市立紫錦台中学校、金沢市立金石中学校の美術部員37名が、現代美術家の椿さん、デザイナーのシロくま先生と一緒に行った全5回のワークショップ「考え方を考える」で制作した作品を紹介します。

ワークショップのテーマは「魔法のばいれ一つ」。荒くれ者で、悪者なイメージの海賊も、かつては大国との間を知恵とお金で渡り歩く存在だった事を前提に、海賊のイメージを文学作品から絵におこしてみたり、犯罪にはならないような「ちょっと悪いこと」を考えてみたり、お金や経済の流れについて思いを巡らしたりしました。中学生たちがアーティスト、先生とともに様々なことを考えて創造した世界をどうぞご覧ください。



1.2 「魔法のばいれ一つ」ワークショップ風景
1 (中央) シロくま先生



2

イベント名	中学生まるびいアートスクール「考え方を考える」 展覧会「魔法のばいれ一つ」
日時	2019年12月7日(土)～19日(木)10:00～18:00 ※12月9日(月)、16日(月)は休場
会場	金沢21世紀美術館 キッズスタジオ
料金	無料
制作	金沢市立城南中学校美術部、金沢市立紫錦台中学校美術部、金沢市立金石中学校美術部の生徒37名、 椿昇(現代美術家、京都造形芸術大学教授)、シロくま先生(デザイナー、京都造形芸術大学准教授)
主催	金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]
共催	金沢市中学校文化連盟
後援	金沢市教育委員会
お問合せ	金沢21世紀美術館 TEL 076-220-2800

取材申込み／問合せ先

金沢21世紀美術館 広報担当: 石川、落合(広報室)、事業担当: 木村(交流課)、山下(学芸課)
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp
※ご取材の際には、事前にご連絡をお願いします。



関連プログラム

こたつ座談会

おカネってなんだ？—おこづかいから海賊まで

日時：2019年12月8日(日)14:00～15:30 (開場 13:45)

会場：金沢21世紀美術館 キッズスタジオ

定員：30名 ※事前予約不要、先着順

料金：無料

ゲスト講師：高井浩章（経済記者、小説家）

講師：椿昇、シロくま先生



昨年度の「こたつ座談会」様子

生きていくために、なくてはならない「お金」。しかし、経済の話はどこを切りとっても複雑で、なかなか理解しきれません。あなたのもらうおこづかいから、展覧会のテーマである「海賊」まで、お金をめぐる仕組みについて、経済記者の高井浩章さんをゲストに迎え、世界の現在を見つめ、これから生きぬく十代の若い人たちにエールを送ります。

ゲスト講師
プロフィール

高井 浩章（たかい ひろあき）経済記者、小説家

1972年愛知県生まれ、経済記者として20年以上活躍。専門分野は金融市場や国際ニュースなど。3姉妹の父親でもあり、2010年から自身のお子にもお金や経済についてわかりやすく伝えようとした青春小説が『おカネの教室 僕らがおかしなクラブで学んだ秘密』（インプレス／2018年）として書籍化されベストセラーに。ブログ型SNSのnoteで経済・教育関連のコラムや書評などを発信中。

<https://note.mu/hirotakai>

講師
プロフィール

椿 昇（つばきのぼる）

現代美術家、京都造形芸術大学教授・美術工芸学科長
瀬戸内芸術祭の醬+坂手地区ディレクターを始め、数多くのワークショップ設計を手がける。



シロくま先生（しろくませんせい）

アートディレクター、京都造形芸術大学准教授
京都造形芸術大学のワークショップ授業をけん引するトップファシリテーター。



中学生まるびい アートスクールとは？

金沢 21 世紀美術館は、その特徴の一つとして「子どもたちとともに成長する美術館」を志しています。

「まるびいアートスクール・プログラム」は、地域の学校と連携し、美術館が媒介となって作品と作品を創った人（アーティスト）と作品をみる人（鑑賞者）が出会い、つながり合うことを目指して継続しているプログラムです。特に多感な成長期を過ごす中学生を対象とした「中学生まるびいアートスクール」のプログラムは 2011 年からスタートし、作品を生み出すアーティストたちの多様な発想と表現に、五感を使って身体全体で出会い、触れ合う体験を通じて、世界にはいろいろな感じ方、見方、考え方、表現の仕方があることを理解する力や他の人を思いやる想像力、そして生きる力につながる創造力が養われるよう願っています。

今年度のテーマ 「魔法のぱいれーつ」！

漫画「ワンピース」や映画「パイレーツ・オブ・カリビアン」の根強い人気や、日本の中世の海賊を描いた「村上海賊の娘」が本屋大賞を受賞するなど、海賊（パイレーツ）はフィクションのキャラクターとしてなじみがあるものの、実際には強奪や犯罪のイメージがあります。しかし、古くは国や領主を相手に渡り合い、公（パブリック）と私（プライベート）の立場を変えながら、海と陸を行き来する存在でもありました。現代の経済構造や国家間の海域の問題なども踏まえつつ、海と陸、公と私、自由と束縛、生と死、境界を越境する者としての海賊（パイレーツ）を様々な視点から解体し、アーティスト、大学生、そして中学生の感性によって、再構築します。

広報用画像

画像 1～6 を広報用にご提供いたします。

ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込みください。

画像お申し込みフォーム

https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

[使用条件]

※広報用画像の掲載には各画像のキャプションとクレジットの明記が必要です。

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報室へお送りください。

※アーカイブのため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録の DVD、CD などをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。